

# ヒトノカケラ

作 篠原 久美子

## 【登場人物】

- 羽根田聡子 (さとこ) (四十二歳) 遺伝子病KKS患者。子供用品のレンタル&リサイクルのインターネット・ショップ「ピッピ」のオーナー。元、公務員。(大学事務)
- 羽根田 融 (とおる) (二十歳) 聡子の息子。フリーター。
- 西宮真梨子 (三十八歳) 聡子の妹。KKS家族会の副事務局長。
- 芹沢 夏男 (三十九歳) ES細胞バンク営業部員(卵子ブローカー)
- 谷 さやか (五十一歳) 通いの家政婦。
- 柳澤 風子 (二十歳) 融の恋人。
- (堀川圭子 (二十九歳) 被告人 教唆及び共謀共同正犯容疑 登場せず)
- (堀川祐二 (二十八歳) 被告人 圭子の夫 共謀容疑 登場せず)
- (東 安弘 (四十二歳) 被告人 産婦人科医・主犯 登場せず)

## 【時代】

近未来。

ただし、ここに登場する全ての科学技術と法令は、この作品の初演時である二〇〇四年には、すでに現存するもの、あるいは理論上可能なものばかりでした。

二〇一一年現在の今でも、ES細胞バンク等の施設が日本には存在していないため、設定は「近未来」ですが、この世界は「近未来SF劇」ではなく「現代劇」として上演されたいと考えています。

【場所】

羽根田家

リビング

聡子の部屋

庭

真梨子のアパート

ES細胞バンク

【プロローグ】

開場時、スクリーンに文字。

「ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律」

「第三条 何人も、人クローン胚、ヒト動物交雑胚、ヒト性融合胚又はヒト性集合胚を人又は動物の胎内に移植してはならない。」

「第十六条 第三条の規定に違反した者は、十年以下の懲役若しくは一千万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。」

「二〇〇〇年、十二月六日公布、法律第一四六号。二〇〇一年、六月六日、施行。」

開演時間になり、客席の明かりが消える。  
闇。

【SCENE 1】

春。日曜日。午前中。

羽根田家のリビング。

カウンターで仕切られたキッチンがある。

下手手前キッチン。上手窓。

出入りは二箇所。上手奥、融の部屋と玄関に通じる。下手奥、一階の聡子の部屋と庭に通じる。

上手、窓際に鉢植えの棚。植物が多い。月下美人の鉢がある。テレビのコ

マーシャルが流れている。

エプロンをかけた谷が椅子かソファに座ってお菓子を食べながらテレビを見ている。

掃除機が椅子の近くに無造作に置かれている。

真梨子（声） （玄関側から）やだ、ホントない。なんで？

融（声） 言ったじゃん、だから真梨叔母ちゃんの勘違いだつて。

谷、声を聞くなり、立ち上がって掃除を始めながらお菓子をポケットに入れる。テレビ、消そうと思うとコマースシャルが終わってワイド・ショーの音楽が始まっている。

谷 もう！

谷、悔しそうにテレビを消す。融達が入ってくる直前に。

真梨子（声） 絶対、玄関に置いたと思ったのになあ。徹君、動かしてない？

真梨子、融、入ってくる。真梨子、ベビーカーを持ってくる。融「キット・グッズ レンタル&リサイクル ピッピ」と印刷された小さめの段ボール箱を持っている。

融 ないよ。（入ってきたながら）ね、谷さん、ホントだよな。

谷 ホントですよ、間違いないって。DNA鑑定つてのやって、子供がお父さんのクローンだつて分かったつて言つてたよ、テレビで。も、大変な騒ぎよ、日本中。

融 え？ ああ…

谷 「ついに、ついにこの日本でも、クローン人間が作られてしまいました。こんなことが人間として、はたして許されていいのでしょうか！」って叫んだもの、レポーター。美人だよねえ、あのクローン人間の奥さん。

融 （荷物を置く）「クローン人間の奥さん」ってなんだそれ。「クローニングで子どもを産んだ人」だろ。

谷 そう、赤ちゃんで産まれてくるんだつてね、あれ。も、全然知らなかったのよ、あたし、

こないだテレビで見るまで。クローン人間って、髪の毛とかから大人の人間ができちゃうんだと思ってたのよ。人型のガラス・ケースみたいの中からこう、ブクブクって人間がこんな感じで：

融 今時、手塚治虫の漫画じゃないんだから。

真梨子 あたし、これ（ベビーカー）事務所に置いてくる。お姉ちゃんは？

谷 お庭ですよ。

真梨子 呼んでくるわ。

融 こっちは？（箱）

真梨子 お姉ちゃんに確認してもらおうから、置いといて。

真梨子、ベビーカーを持って下手に行く。

谷 事務所だったって、聡子さんのお部屋のように、ねえ。

融 まずったかな。

谷 なにが？

融 ちよつと気にしたかも。真梨叔母ちゃん。

谷 なんて？

融 堀川圭子さん、真梨叔母ちゃんの知り合いだから。

谷 うそお。

融 K K Sの家族会の人だよ。お袋と同じ病気。

谷 え？

徹 ほら、K K Sって遺伝子病じゃん。クローンで子供産んだってのは、母親の卵子から細胞の核を遺伝子ごと、抜いちゃうから、子供はK K Sにはなんないの。だから圭さんはクローニングで子供産んだんじゃん。

谷 融さん、知ってるの、その人？

融 知ってるよ。真梨叔母ちゃんなんて、堀川さんを支援する会の実行委員だぜ。

谷 やだ、もう、先に教えてよ。まるであたしが無神経だと思われちゃうじゃないの。はじめに話題振ったの融さんだからね。

徹 え？

谷 「ホントか？」なんて聞くから、私もつい乗せられてしゃべっちゃって。駄目じゃないですか。知ってたんなら、もっと気を遣ってあげなきゃ。

融 てか、俺聞いたの、クローンじゃなくて手提げ袋のことなんだけど、真梨叔母ちゃんの

なくした。

谷 なにそれ？

融 ゆったじゃん。探してくれって。

谷 聞いてない。

融 ゆったよ。真梨叔母ちゃん、昨日来たとき忘れてったって。家族会の書類が入ってるから探しといてって。

谷 書類はなかったですよ。

融 バックは？

谷 茶色の？

融 うん。

谷 こんくらいなの？

融 そう。

谷 玄関？

融 あったの？

真梨子、出てくる。「茶色のこんくらいの」バックを持って。

真梨子 あったわ。なぜか事務所に。

谷 はい。それは私です。見つけて「事務所」に置いておきました。聡子さんのだと思ったんで。どうもすみませんでしたっ。

真梨子 すまないどころか大感謝よ。ありがとう。

融 よかったじゃん。大事な書類？

真梨子 ええ。堀川夫妻に寄せられた全国の会員からの手紙とメール。

谷 え、それ全部？

真梨子 そ。遺伝子病患者にとって子供を持つか持たないかって切実なのよ。子供に病気が遺伝するかも知れないって不安があるから、今回の反響凄くて。家族会の中でも、クローニングには賛成だの反対だのってもう、大騒ぎよ。法改正してクローニングを認めるべきだって意見もあるくらい。

融 それって矛盾してねえ。いつも言ってるじゃん。「KKS家族会が目差しているのは、どんな病気の間も一緒に生きる社会です」

真梨子 そこが難しいところよ。KKSの子どもなら産まないってことは、病気差別と一緒にだつて。それで、堀川さんに風当たりが強い。

融 あー、だから「堀川さんを支援する会」って家族会とは別に作ったんだ。家族会、副事務局長も大変だね。

真梨子 そうなのよ。同情してよ。

融 やだよ。（冗談）

真梨子 もう。（笑う）ま、でも、「家族会」も「支援する会」も、遺伝子病に対する社会の無理解が、堀川夫妻を追い込んだってところでは一致しているの。だから、これ、まとめて弁護士に送ろうと思って。

谷 あ、裁判。決まったとか言っていましたよ、テレビで。

融 え？

真梨子 いつ？

谷 八月か、九月か、十月よ。うん。間違いないわ。

谷、掃除機を持って上手へ。

融 んな、アバウトな。

真梨子、テレビを点ける。

以下、二人の会話は、テレビの音声の中で交わされる。テレビの声が最初から最後まで流れる必要はない。

上手からはかすかに掃除機の音がしている。

テレビの声 …の東医師の逮捕に続き、日本初、まさに、日本で初めてのクローン人間を出産し、先週、クローン法違反容疑で逮捕された堀川圭子容疑者……、今、今、堀川圭子容疑者が出てきました。白っぽいカットソーに煉瓦色のカーディガンを肩から掛け、うつむきながら、今、警視庁の階段を下りてきます。自分の犯した罪を悔いているのでしょうか。あるいは拘束されてから会っていない、やっと二歳になったばかりの我が子のことを考えているのでしょうか。暗く堅い表情のまま、今、護送車に乗り込みました。初公判は八月三日。それまでの三ヶ月間、いったいなにを思って過ごすのでしょうか。圭子容疑者はカリウス・クルツリンガー症候群という死を宣告された、不治の遺伝子病に侵されています。しかし、どうしても夫婦二人の健康な子供が欲しい。そう思いこんだ圭子容疑者は、夫の祐二容疑者と共謀し、東医師の施術の元、ついにクローン人間出産という暴挙、人間の生命の尊厳を侵す神の領域に踏み込んでしまっ

たのです……

融 このシーンばつかやってんね。

真梨子 そうね。

融 コーヒー、飲む？

真梨子 いらない。…八月三日…。(手帳に書き入れながら)…うわ、病名、もろ言った。

融 抗議してみたなら？ KKSって略称使って欲しいって。

真梨子 もう何度も抗議してるの。病名聞くだけで辛いつて言う患者の気持ちが分かってないのよ。…でも、なに言ってるのよ、このレポーター…！

融、テレビ、消す。

融 母さん来んじやないの。あの人、ワイドショートとか嫌いだからさ。

真梨子 あ、谷さん。

真梨子、上手に向かって。

真梨子 谷さん、コーヒー淹れてますから、手の空いたところでお茶にしましょう。

谷(声) はーい。

真梨子 呼ばないとすねるからね、あの人。

融 言ってる。あ、風子がさ、今日も行っているかって？ 圭子さん家の子守ボランテニア。

真梨子 もちろん。融君もどう？

融 いい、俺は。あのクローンのカギ、すぐ泣くんだもん。

真梨子 可愛いじゃない、有樹君。風子ちゃんになついてて。(段ボールを開ける)

融 俺にはキック喰らわすんだぜ、あいつ。

真梨子 へえ。見てこれ。今日の放り出し物。

融 すげえ、シャラビアのワンピース。上物じゃん。

真梨子 詳しくなったね、融君。二十歳の男がベビー服。

融 ハマると面白くてさ。俺、学校いたところは勉強、嫌いだって思ってたけど、嫌いなのは勉強じゃなくて学校だったみてえ。

融と真梨子の会話の途中で聡子が入ってくる。

聡子はK K Sの中期症状である不随意運動があり、会話や本人の意志とは関係がなく、四肢や首などの神経が時々、突然、不随意に動き出し、持っている物を飛ばしたり自分の体に当ててしまったり、不自然に曲げ伸ばしたりする。この動きは睡眠中以外は止めることが出来ない。よって、台詞ト書きに特に指定がない場合でも彼女の動作はスムーズではないことがある。融、谷、真梨子は聡子の動きによって起こることを自然にフォローする。全編を通じ、どんな場面であっても。

聡子、手に小さな如雨露と挿し木した月下美人の鉢を持っている。

谷、以下の会話の途中で出てくる。掃除機は持っていない。

聡子 だったらさっさと大検でも受けて大学行くなり、資格とって就職するなり考えなさいよ、このパラサイト。

融 わりーけど、俺、バイト二つ掛け持って親の仕事手伝ってんだぜ。こんな勤勉なバラサイトいねえよ。

聡子 ばあか言ってるんじゃないよ。ほら。（鉢植えを出す。）

融 お、サンキュ。株分けしてくれたんだ、月下美人。（鉢植えを聡子から受けとって置いて見る。）

聡子 あんまり触らないでよ、まだちゃんと根付いてないんだから。倒れやすいのよ、挿し木したあとは。

融 分かったよ。

聡子 くれぐれも目の当たるところには置かないでって言ってよ。（手に持っていた小さな如雨露が急に振り上がり自分に水がかかる。）

融 （すぐにタオルかハンカチを渡し）大丈夫か？（如雨露を拾い）これ、葉とか入ってねー？

聡子 大丈夫。ただの水。

谷 （真梨子に）ぼーっとしてない、雑巾。

真梨子 はい。

融、如雨露を植木の棚の脇に置く。

真梨子、雑巾を出す。谷、雑巾を素早く受け取って床を拭く。

聡子 自分でやる。



谷　　また立ちくらみ起こしちゃいますよ。

真梨子　お姉ちゃん、今日、引き取ったベビー服の確認してくれない？　カフェオレもはいつてるよ。

聡子　ありがとうございます。でもこれやっちゃうわ。

谷　　ちよっと待った。

　　谷、台所からモップを持ってくる。

谷　　じゃ、これをお願いします。（聡子にモップを渡す。）

聡子　ありがとうございます。

真梨子　谷さん、お疲れ様。（コーヒーを出す）

谷　　すみませんね。

融　　月下美人はあんまり触らない、日の当たるところには置かない、ってことか。あいつに言っとくわ。

谷　　それ、風子ちゃんにですか？

聡子　そうよ。ちゃんと面倒みてくれるといいんだけど。

融　　やるって言ったらやるよ、あいつは。

谷　　でもあの子、一回あたしに挨拶しなかったことあんのよ。今時の子はなにな、あれ。気を遣うってことができないのかね。

融　　たまたまじゃねえの。

谷　　聡子さんなんて、今日、あの子のためにちゃんと早起きしてさ、腐葉土やら赤玉土やら入れて挿し木して上げたんだよ。いいお姑さんだよ。問題はそうやって気を遣っている姑に嫁が気づけるかどうかだよ。

聡子　谷さん、その時はレクチャーお願い。（モップを持ってキッチンへ）

谷　　任せて下さい。（聡子からモップを受け取り仕舞う）

融　　やめろよ。姑、二人かよ。

真梨子　これ（ベビー服）今月の入荷分。

聡子　見せて。これはいいわね。うん：ああ、この染みは落ちるわね。あとは、ミキハウスのスカート付きロンパースとエレファントのパーカーね。

真梨子　パンツもあるわ。

聡子　一個、ボタン取れかけてるか。

谷、裁縫箱を聡子にとってやる。真梨子、針に糸を通してやる。聡子、ボタン付けを始める。会話の中で。

谷 可愛いね。みんなこんなちっちゃい服が入る体だったんだねえ、昔は。

真梨子 オーガニック・コットンなのよ、これ。今人気でしょ。

聡子 うん。上等。

融 それさあ、スカートついてなかった？

真梨子 なかったけど。

融 パーカーとスカートとパンツがおそろいのシリーズなんだよね、それ。

真梨子 そうなんだ。やだもう、これから融君、運転手じゃなくて品物、一緒に見てもらおう。

聡子 真梨子、それ、先方に確認してくれる。サイトにアップする写真はスカート付きにしたいわね。

真梨子 了解。じゃ、これ入荷ってことで帳簿に書いとく。融君、後で入力、しといてくれる？

融 たく。パソコンくらい覚えろよ。

真梨子 いいの！

真梨子、聡子を持っている以外の服を箱に戻して下手へ。

谷 なんかインターネット・ショップって楽しそうだね。あたしもやってみようかな。

融 谷さん、何売なの？

谷 え？ あー、…あれ（月下美人の鉢植え）みたいにさ、葉っぱ差しときゃ増えるのって元手でなしでよくない？

融 いい商売だな、それ。あれもさ、クローンなんだよな。

谷 あれが？

融 うん。最近、ちよい、細胞にハマっててさ。クローンってギリシャ語の「小枝」とか「挿し木」が語源だって、なんかで読んだな。

谷 へえ…。融さん、何でもよく知ってるね。駄目だよな、やっぱり。

聡子 何の話？

谷の次の台詞の途中で洗濯機のアラームが下手で鳴る。

谷 クローン人間作っちゃって逮捕された夫婦ですよ。真梨子さんには悪いけど、やっぱ、  
気味悪いじゃない、なんか、クローン人間って。病気のことはあれだけどさ……。聡  
子さんみたいに普通のお子さん産んでちゃんとやってる人だっているんだから、そう  
いう、気味の悪いことしちや駄目だよ、ホントに…。

融 まあな。K K Sの子供ならいらなくてことだもんな、クローンニングで出産するって  
ことはさ。

谷 いや、あたしは難しいことは分かんないんだけどさ、駄目なもんは駄目だよ。じゃ、洗  
濯物、干してきます。

聡子 お願いします。

谷、下手に退場。

聡子 融、あんた、時間いいの？

融 そろそろかな。…母さんはさ、俺産むとき不安じゃなかった？ …んなわけねえか。そ  
りや不安だよな、やっぱ。K K Sは遺伝率高いもんな。（自分のコーヒーカーップを片  
づけながら）

聡子 融…。あんた、遺伝診断の結果知るのが怖いんですよ。

融 んなこたねえよ。あ、真梨叔母ちゃんの手提げ袋、出てきたよ。谷さんが片づけててさ。  
聞いてねーとか言ってるの、マジかよって感じで。

聡子 なにそれ。

融 堀川さん夫婦に寄せられた、全国の家族会の会員からのメッセージなんかが入ってたん  
だよ。

聡子 そう。

融 …母さん、興味ねーの？

聡子 ないわよ。自分の仕事と、あと、教師ぶん殴って高校中退した馬鹿息子が早くどっかに  
落ち着いてくれないかって、

融 ヤベ…。

聡子 それだけであたしはもう、手一杯。

融 …あんさ、前から聞きたかったんだけどさ。

聡子 なに？

融 なんで入らないの、うち、家族会。

聡子 嫌いなよ。同じ病気で集まって「お話し」するみたいなこと。

融 キッツー。

聡子 なによ。

融 母さんらしいけどな。

融、自分の部屋の方へ行きかけたところで、谷、庭から急いで戻ってくる。

谷 あの。

聡子 どしたの？

谷 なんか、覗いてる人がいるんだけど…

聡子 うちを？

谷 ええ。洗濯物干してたら、通りから。

融 なんだ、それ？

谷 見た目は感じのいい男んだけど、ストーカーだよ、あれ、絶対。

聡子 誰、つけてんの、この家で？

三人顔を見合わせる。

谷 あたしのこと、じーっと見てました。ホントですよ。あの目は絶対、ストーカーの目です。

融 見てくる。

融、下手へ走る。